県民の友
発行所 和歌山市小松原通一丁目 和歌山県企畫廣報課
編集印刷兼発行人 山本正三
印刷所 和歌山県印刷所
旬刊 1日・11日・21日発行
定価一部 2円50錢

晴れの浦神子供漁協

全国代表でお礼の言葉

去る十月十七日県、大蔵省講堂で行われた表彰式に参列する光栄に浴しました。当日は河野大蔵省銀行局長の開会挨拶につゞき池田大蔵大臣、一万田日銀総裁の式辞があり、表彰状並びに賞品の授与があつて、次に天野文部大臣、佐藤郵政大臣、佐藤(喜)全国銀行協会長、及び湯河農林中金理事長の御祝のことばがありついで浦神小学校こども漁業協同組合が全国の代表として御礼のことばを述べました。その外北海道代表、東海代表、南九州代表等のこども銀行運営状況の報告、愛国学園こども銀行の模範珠算があり最後に増田日銀貯蓄推進部長の閉会の挨拶により式典を終りました。その後アトラクション、都内見学等多彩な行事を終えて浦神こども漁協の少年たちは帰和しました。

ついで十月五日県庁で、それぞれ三行の表彰状及び賞品の伝達式を挙行し、会長代理荒木副知事の挨拶につゞき和歌山財務部長、教育長及び日銀和歌山事務所長、田中小学校こども銀行(那賀郡田中村)田中小学校こども銀行は、昭和二十三年十一月二十六日那賀郡田中村小学校内に設立し、貯金者数は昭和二十六年八月末現在百二十七万六千三百六十四円四十六銭の多額に達しています。これは昭和二十三年設立以来指導教育の熱意とより良き計画のもとによく運営し、こども達も社会科学習の一端として大変よろこんで真剣に責任をもつて自分の任務をしていることによるものであり、またこの銀行は学校の推進力となり、他の自治組織にも好影響を及ぼしています。潮銀行は田中村農業協同組合であります

浦神こども漁業協同組合(東牟婁郡下里町)

浦神こども漁業協同組合は昭和二十一年五月一日下里町浦神小学校内に設立され貯金者数二一八名貯金額二十五万四百七十四円二十一銭であります。この地は漁港地帯であり漁港地帯特有の「脅威の金は持たない」という親達の概念がえいえいたる子供達の努力により打破され、負うた子に教えられる如く部屋全体に勤倹貯蓄の美風が醸成されました。浦神は農耕地は少なく、殆んどが、漁業収入によつている家庭であり、小供達に与えられる小遣いも僅少であるのちよく節約し又家事手伝等により金の尊さを体験し、計画面においても過去五年間一回の誤も起していないということであります。

主要食糧販売業者の再登録

一月から三月迄に実施

来年一月から主食の販売業者の業者登録を行うことになつていますが、その要領が次の通り決定しました。

小売販売業者甲(米穀)の申請書受付期間は一月十五日から二十八日まで。

消費者の登録期間は二月十五日から十七日までの三日間。

小売販売業者の申請書受付期間は二月十五日から二十八日まで販売業者の登録期間は三月十五日一日だけとなつています。

右のように登録が更新されることになつていますが詳細については近く地区別に関係者の打合会を開き、これの取扱の徹底を期することになつています。

結核の伝染はこうして防がれる

新結核予防法の知識

いくらレントゲン集団検診をやつて、患者の早期発見、早期治療を進めても、開放性患者による伝染を防がなければ、イタチごつことなり、結核撲滅は凡そ考えられません。結核からは忘れられている日蔭の山路郷での出来事は皆さんよく御存じでしよう。一人の開放性患者である先生が無自覚の盛敬壇に立つていたため学童や先生の多数が次々と結核に侵されたのです。那賀郡のある中学でも、先生が次々と結核に斃れるので、検べてみるとある一人の先生が開放性結核であるに拘わらず敬壇に立つていたのでした。このような例は、学校だけではありません。工場にしても、事業場にしても、さては一般家庭でも、大なり小なり、こうした事例はいくらでもみられるのです。たつた一人でも開放性患者はこんな恐しいのです。結核をなくするためには開放性患者による伝染を防ぐことが、どんなに大切かがおわかりになつたでしよう。

そこで、今度新しく施行されている結核予防法では、この予防の根本である伝染防止を、次のように規定し、私達に義務づけているかを説明してみましよう。これから先この法の規定に基いて、どしどし処理されますからよくよんで、諒解のないよう、皆さんの御協力をねがいたいと思います。

法の二十八条で、県知事が法による健康診断を行つた結果、結核を伝染させるおそれが強いと認われる患者があつた場合、それが接客業、その他公衆に結核を伝染させるおそれのある仕事をしている場合は一定の期間を定めて、そうした仕事に従事することを禁止します。本人にとつては大へん気の毒なことですが、前に述べましたような恐しい結果を未然に防ぐためには止むを得ないことなのです

さて、従業禁止される業種は、一、旅館、料理店、飲食店その他の接客業で、女中、給仕人、芸技、ダンサーなどがする客の接待、身の廻りの用務、室の清掃その他これに似た業務

二、遊技場その他の娯楽場及び興行場などで客の取扱いをする業務

三、床屋、パーマネント屋などの理容業務

四、派出婦

五、保母その他の常に十五才未満の児童に接する業務(教員を除く)

六、保健婦、助産婦、看護婦、看護人、歯科工生士、あんま、はり、きゆう師、柔道整復師の業務

以上です。なお従業禁止処置については、

一、従業禁止、及び、命令入所は基本的人権に影響するところが大きい場合があつて、慎重にやらなければなりませんから、法の発動は止むを得ない場合に限るようにし、なるべく勧告で実際上休業および入院するようにします。

二、従業禁止の対象業種を、前に述べました法第十八条に定める業務に限定しているのは労働基準法の適用を受けるものは司法により学校の教職員は学校伝染病予防規定で、国家地方公務員法で、結核を伝染させるおそれのある患者は当然従業の制限、または従業禁止されることになつていますので、それらの法規では従業禁止の対象にならないもので公衆の結核を伝染させるおそれのあるものに限つて指定しています。

三、前に述べました従業禁止業種以外の業種、即ち労働基準法や公務員法の適用を受けている業種の患者で、従業の制限、および禁止の要があるときは、県知事や保健所長は労働基準局長や教育庁などの行政長や所轄庁と相談の労働基準法や公務員法などに基いて実施し、これらの法律では困難な場合は結核予防法が適用されます。

四、この法による従業禁止は必ずしも、この法による健康診断の結果によらなければならないので、この診断を受けていないものに対して、その処置をとろうとする場合は、この法の規定による定期外の健康診断を行い、その結果にもとづいて命令します。

入院命令、家屋や物件の消毒廃棄、これらの措置によつて生じる損失の補償については次号で解説することに致します。(予防課)

生活改善の一ケ年の歩み

緑の自転車は生活改良普及員を乗せてきようも村から村へと農家を訪問してゆく。憩まれない農家の生活を何とかしたいと、この仕事を国が又県が取り上げてからもう三年になる。緑の自転車も次第に数を増して今年は十八台、即ち十八名の生活改良普及員が県下各地に駐在することになつた。

忙しい農家の人々は一日の時間をどんな風に使つているとだろうか、食物はどうだろう、衣服は台所は、と先ず実態の把握は普及員にとつて大きな仕事である。これに基いて改善の実が積上げられてゆく。

毎年村祭りに一戸平均六千円の虚費が流れるという或る村では、ことし年は四千円ですんだとの普及員の言葉であつた。戸毎二千円の節約が出来るならば何と大きな改善であろう。しかもこれが台所改善にかまどの費用に使はれるという。寄生虫の害はこれこれとその啓蒙に努めた或る普及員、その結果七割の保菌者、中には五〇%以上の排虫者も相当居たという。これだから便所はこうして手洗いはこう肥料溜はと改善施策が立てられる。

少しずゝしかしたゆまず積み行くこの努力から生れる実績は、何にも増して尊いものである

毎日一回集つて自分の考えを又改善の実状を語り合い研究し合う生活改善友の会は会数約六百に達しその歩みは次第に他について来ている。改善へと月掛貯金を又食物はこうしてと去年生れたばかりの友の会は今年にはいつて愈々団結を強め除々に改善の効果を上げつゝある。衣の工夫住の工夫などさゝやかな会員の作品は郡単位展示会として開催し工夫の程に一同感心したのであつた。

生産性を高めるために大いなる努力を払われる事が必要であります現地にある農業改良普及員及び生産改善普及員と共に青少年クラブ活動に万全の助言と協力を尽されたいと思います。

写真は四Hクラブのキャンプ訓練の際の国旗及び四H旗掲揚風景。(農業改良課)

今年の農村青少年クラブ活動

農業改良事業の一環としての農村青少年クラブ活動は農業改良助長法の目指す農業改良普及員と農民生活の改善向上を保障するために、重要なる役割を持つだけでなく、次の時代の農村を背負つて立つ青少年に科学する態度と、民主的に社会生活を営むことを教えよき公民としての訓練を施す上に極めて肝要な問題であります。

県では農村の青少年男女にクラブを組織することをすゝめて来ましたが幸に沢山の青少年男女の共感を得て、現在多くの市町村に青少年クラブが組織され活発に活動しています。

農村青少年クラブは先づその基礎となる「農業技術の改良」と「農家の生活改善」についての認識を深めておくことが最も重要の事と思われます。而し一日に「技術の改良」とか「農家生活の改善」とかいつても仲々容易なものでありません。

個人々々の研究は勿論必要でありますが目標と志をおなじくしている同志が相寄つて青少年のクラブ組織を作り、協同で研究し、実践し「クラブ活動」を通じてこれを実際に活用して行くことが最も望ましいこと、考えられるのであります。本年度は主としてクラブ活動の根本についての基礎的な仕事を進めて来たのですが、農村青少年男女に職業技能教育を施し、生活を通じて協同精神を養い郷和を図り、クラブ精神を昂揚すると共に農業に興味と関心を起させ積極的に営農する農民を育成するため、県主催第一回四Hクラブキャンプ大会を日高郡御坊町において三日間開催し第一期以上の成果を納め以後新しいクラブが相当数結成され着々実績を挙げつゝあります。

又九月には農業祭と併行して青少年クラブの展示会を開催し各クラブ員の志気を大いに昂揚すると共に、幸に各方面の認識を得ることが出来たと思われます。

来年度は内容の充実に主眼をおき青少年クラブ組織と活動を強化拡充するような施策(例えば各種の講習会、研究会体験発表クラブの顕彰その他クラブの特殊活動等)を実施して農村青少年活動の指導を図りたいと考えています。

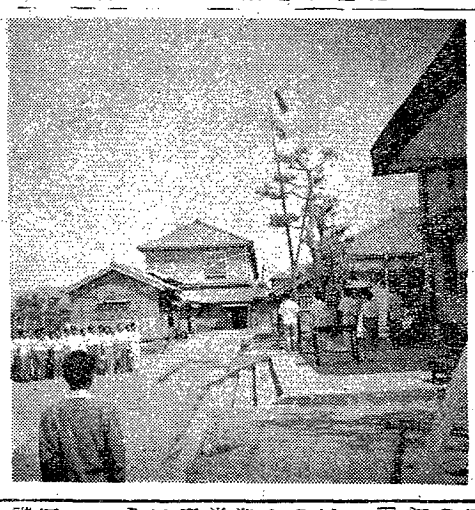
翌年度に県下農業の改良発達は一にこれら農村青少年の双肩にかかつているといつても強言でないと思います。それには青少年諸君は積極的に自ら進んで青少年クラブの組織と活動に参画し自家の農業のみならず、部落や村の農村の向上に御協力を願つているものであります。

写真は四Hクラブ育成指導員に農村青少年クラブ育成指導の一環として農業改良助長法の目指す農業改良普及員と農民生活の改善向上を保障するために、重要なる役割を持つだけでなく、次の時代の農村を背負つて立つ青少年に科学する態度と、民主的に社会生活を営むことを教えよき公民としての訓練を施す上に極めて肝要な問題であります。

柳本氏の山羊に一等賞

―近畿連合畜産共進会―

既報十二月八日から四月間奈良市秋篠町奈良県畜産輸送場で開催された第七回近畿二府五県連合畜産共進会では、本県から出品したものゝ成績がわかりましたが、種山羊日本サーネン種リー(柳本芳樹氏出品)が一等賞を獲得したのをはじめとして、本県の出品家畜の多くがそれぞれ優秀な成績をおさめました。



入賞出品者氏名次の通り

▲種牛和牛の部、等賞(会長賞状賞金五千円農林大臣賞状)上秋津村高瀬源兵衛、三等賞二川村大江本治、四等賞岩田村坂本長三郎、宇久井村東雲松、秋津川村谷本勝助▲役牛二等賞(会長賞状賞金五千円農林大臣賞状日本畜産協会賞状)鎌塚村小倉善三郎、四等賞南野上村岩陽政雄▲種豚四等賞和歌山市美園町北本商、紀伊村辻本信代▲種山羊一等賞(会長賞状賞金三千円農林大臣賞状日本畜産協会賞状賞品日本山羊会会長賞状)全国畜産販売農業協同組合連合会賞状賞品全国家畜商協会賞状賞品農産畑村柳本芳樹、▲種鶏三等賞大田村太田俊二、四等賞西和佐村岩間芳蔵、和歌山市西浜町岡野九二男、太田村太谷繁雄、和歌山市西浜町岡藤之。

農家簿記をつけよう

農業経営の実態把握のために

朝のまだ明け切らないうちから鍬をかついで野良に出掛け毎日毎日ボロを着て働き続け、夜おそく家に帰り何の気力もなく、くつたりとした身体を床の中にいれてしまう。金のある時は何んでも食べ金がなくなれば塩をなめ、税金は税務署まかせ…と言うような農みんはいないと思われるけれども一人でもこのような人がいるとしたら、その農民の経営や生活が向上するだろうか。

これからの農みんは一生懸命働くと共に自家の経営をじつくりと眺め、その良い点、悪い点を充分知っておらねばならない。特に最近のように目まぐるしい世界経済の変転に対して、これに対応した我が家の経済を改善するには、その内容と経営の動きをはつきりと調べ、改善すべき点をつかまえることが必要である。

自家の経済の内容を知るには何んといつても、まず簿記をつけることが第一であつて、今後の困難な農業経営を成功させるか、させないかは、一に農家簿記を正しくつけることによつて、農家経済を確立するか、否かにかゝつているといつても過言ではないと思う。

最近の日本農業の前途は決して楽観を許さない。既に米までも統制撤廃問題でやかましく論議されている折柄、農民は従来のような一定のわく内での、他力本願的な安易な農業経営を以て満足していたのでは、決して今後の不況を乗り切ることは出来ない。どうしても自分の力で、自分の頭で経営を計画し改善して行かなければならない。農家の方もこの点真剣に考えていられることと思う。

しからばどのようにすれば我が家の経営が自立し、経済が豊かになり、そして生活が楽しくなつて行くであろうか、そこに我が家の経済の実態の把握が必要となるのであつて、その実態を科学的にはつきりと解明しなければ、いくら頭をしぼつて考えてもはくせんとして正しい判断が出来ず、大地に根を下ろしたしつかりとした経営改善の方針を樹立することは難かしい。

農家の方が毎日毎日土を相手に仕事にはげんでいるのも、結局は土地、資本、労働を有機的に活用して利益を上げ、その利益によつて生活をより向上させたいために他ならない従つて他の企業と同じくいかに多くの利益を生み出すかということを考えているのである。

所が自分が生産した農産物について、はたしていくらの利益があつて売つているのか、はつきり数字をつかんでいる農家の方は少いと思う。これも個々の生産費が分らないからである。

又税金問題にしても同じで申告納税の民主化された制度があつても、収入と経費の正確な数字が分らないために自信ある申告が出来ず結局税務署まかせの納税を行つている。

こんなことではいつまでたつても農家は自主的な経営によつて、経済を豊かにし生活を高めて行くことは出来ない。科学的でしかも合理的な経営改善にはどうしても農家簿記の記帳が必要であつて、簿記を適して生産と家計消費の関係を知り正しい経営に邁進しなければならない。

よく農家の方は簿記はむつかしいとか、或は記帳する余裕がないとかいわれるが、簿記はそんなにむつかしいものでもなく記帳も単かつ分位で時間のかかるものではない、要はその人のつけようとする強固な意志と改善しようとする努力の問題である。世の中はすべて科学的に進んでいる。一人農業のみがいわゆる僥倖的なばく然とした判断で進むことは許されない。

年末から徐々押し迫まり、新年度の新しい構想に燃えておられる折、是非農家の方が一人でも多く農家簿記を記帳して、最も合理的な農業経営を確立されるよう望して止みません。

火魔に注意！

今年一月から十月までの本県の火災統計を見ると、火災件数は、建物一五〇件、山林四五件（五七〇、六四〇町歩）、その他二二件で、これら火災による損害総額は実に一億一千五百七十七万四千百四十五円を数えています。

原因については、建物では、気節によつて変るが、かまどの取火の不始末が最も多くその他に火針の残り火、かいの灰の不始末、こたつの不始末や過熱こんろの火の不始末、風呂場の飛火、煙突の飛火、電熱器、油引火、漏電、火消壺、灯火、不注意によるマッチ、子供の火遊び等々があげられます。

山林では汽車のはい煙、煙草の落火、焚火の不始末であります。

これからは火事の多い時期です以上の原因については一段と注意をはらい火災によるムダな損失をなくするように心がけて下さい。

毎日の新聞は各地の大火とその莫大な被害を報じています。季節風が強く、空気が乾燥していますから少しの油断から思わぬ災害にみまわれることになります。

一に火の用心、二に火の用心、皆様の心がけで大切な皆様の家を守りましよう。

給与のはなし（一）

――公務員のふところ具合――

このたび公務員の給与ベースは一五〇〇円引き上げて一万円ベースとなる。このための財源として政府は国家公務員分七七億、地方公共団体分百億を補正予算に計上したというようなことが新聞に報道され、又百億では県や市町村等の公共団体はまだ財政的に苦しいから、もつと本衡交付金を増額しろという決議が国会でなされたりしています。

私たち国民は国や、県の役人一今は公務員といゝますが一を私たちの税金で養なつているわけです養うというとおかしいのですが、公務員は一般国民にサービスを提供しその対価として給料をもらつているといえましよう。

国家公務員は約九〇万人足らずありますが、ザット計算しても年間九百億円近く給与を支払つている勘定になり、これに府県や市町村等の公務員も加えると、国民が公務員に出している給料は莫大なものとなります。県の場合の例をとつて見ましても和歌山県の一般職の公務員は教員を含めて約一万一千余、年間約十二億円、これを県民一人当りに割り振ると千二百円余。なお国民一人当りの国家公務員分、千八十円を加えると合計二千三百円ばかりが赤んぼうまで含めた県みん一人当りが負担している勘定となり、一世帯では一万円余りになります。

もちろん、これは給与費だけで、この外に超過勤務手当や旅費等に支払われる人件費も少くはありません。

このように人件費が多くかさむので政府は政府職員の定員法を改正して約八万八千人を減らし国民一人当り、年間約二百円ばかり負担を軽くしようとしたわけですが国会において修正され、結局六万百余名減らすことに決りました。

ところが欠員とか何とか実際に減るのは三万ばかりと推定されて居りますので結果としてはそれ程負担も軽くはならない（ベースアップもあるため）といえましよう県の場合はそれ程になるかはつきりしませんが、近隣府県の事務量が案外多くなつているため、機構や、事務運営の上に新工夫を加えない限り人員を減らすことはなかなか困難でしよう。

話は横道にそれましたが、始めに戻しまして少しく給与ベースという言葉について述べて見ましよう。

給与ベースとは

給与水準ともいわれますが、公務員一人当りの平均給与額をいうのであつて、民間会社等でいつている賃金ベースに相当するものです。

公務員の給与には俸給と扶養手当勤務地手当、特殊勤務手当が含まれます。俸給や勤務地手当の説明は後でするとしまして、今度政府が引き上げた一万円ベースについてお話しましよう。

現在の公務員の給与は、いわゆる七、九八一円ベースでこれは今年の一月から実施されているのですが、御承知のように其の後朝鮮動乱後の物価の値上りで民間の賃金や、生活費もうんと上昇していて、公務員の生活は非常に苦しくなつてきています。おまけに八月から主食の値上げ電気料金の値上げ、最近は運賃、郵便料、ガス、新聞等とすべてのものが上つています。それで早く給与を引上げてやりなさいと人事院が今年の八月に一万円ベースを政府に勧告したわけですが、政府は所得税を引き下げるからと、人事院の二、七〇〇円引上げを一、五〇〇円に値切つて給与ベース改訂を実行することにしたわけです。

現在の国家公務員の平均は約八千五百円位になつていますので、千五百円引上げると一万円余りになるわけです。

先程も、ちよつとふれました地方公務員の給与引上げのため、政府は地方財政の補いに平衡交付金を百億円（和歌山県には約一億見当交付される）出すわけですが、大蔵省では地方のこう務員は政府職員より給与が高いからその分だけ平衡交付金を減らすといつており、和歌山県の場合は八七四円も高いといつています。これは大蔵省が県の職員の一部分について抽出して調査したもので全体の正確な平均ではないので八百円ナンテとんでもないというところ、平均で百円位は或は高いかも知れません。もちろん給与平均（ベース）は全職員の平均でありますので給料の高い古参職員が多いと平均は高くなります。で単に平均だけで比較するのは妥当でなく、職員の平均年令とか、人員構成（級別人員）とかも同時に考えて見なければならないので単に政府職員の平均は何円だから地方も同じでないといけないとはいえないわけですで話は又横にそれましたので再び元に戻して、給与ベースはどうして算出されるか簡単に述べて見ましよう。

まず給与の内の俸給ですが、これは成人一人当りの生計費を算出して、最低生活費を保障し、次に民間の賃金平均を算出し、職務の困難さの度合に応じて、各段階に分け、公務員のこれと同様な職務の級（一級給仕から十四級局長級）の平均俸給をこの民間給与と同じようになるよう計算するので、結局同じような職務には公務員も民間も同じ給料が支払われるようにと考えてゆくわけです。

この俸給は基本給ともいうべきもので、この外扶養手当や勤務地手当があります。扶養手当は家族手当で妻と第一子は六〇〇円、その他扶養家族一人につき四〇〇円が支給されます。勤務地手当は生計費の特別に高くつく地域に勤務する者に支給されるので、和歌山市では俸給と扶養手当合計額の一割五分その他の市部や、一部の町では五分支給されています。

これらが公務員の給与といわれているものです。なお年末には特別手当が支給されますが、今年は〇・八ヶ月分が支給されることになる見込です。すなわち改訂なつた給与ベースでは平均八千円位が支給されることになります。

以上とく大さつぱに公務員のふところ具合についてお話しましたが、この次には地域給や、生計費等についてお話を進めて行くことにしたいと思います。

精神薄弱者と仕事

精神薄弱の人々でも、知能が非常に低く、日常の生活に事欠くほどでない限り世の中に有用な人間として、幸福な生活をすることができる。

これらの人々は、正常者と競争して知能的な仕事で勝つことはできないが、早くから健康な環境におかれて、適性をのばし適所におかれたならば、知能の高い性格のいびつな人々よりよほど有用で幸福であることは、ちようど鶏が鬼に勝つようなものであろう。

機械の仕事の多い現代産業にはモノトナスな仕事に、あきもしないで長年喰いついて居られる人々も必要である。ニューヨークのある大きな紡工場で、最高所得者が精神薄弱者であつた事実は、このことを証明している。

（厚生広報だより）

× × ×

衛生メモ

冬休みの衛生について

（四）カロリーの高い食物をたべましよう

冬は、食物の味が良い時期で、食欲も盛んになりますから、大抵の人が肥ります。寒い時には、カロリーの高い暖い食物が一番ですから、つとめて栄養を取りましよう。でも過ぎたるは及ばざるが如しで、暴飲や過食はいけませんから、どんなに美味しくても腹八分でやめておくことが健康になる秘訣です。

（五）冬にかかり易い病気に注意しましよう

かぜや気管支炎、肺炎、ジフテリア、などは冬にかかり易い病気です。風が冷く、空気が乾くので、呼吸器の病気が多いから外出から帰えると必ずウガイをするようにしましよう。

冬休みは、寄生虫を駆除するのに最も好い機会ですから、保健所や医師に相談して、虫卵をもつている人は、このさい必ず駆除しておくと、新学期から快よく勉強ができます。

（六）夜ふかしをしないこと

山鳥の尾のように長い冬の夜はかるたやトランプ遊びや麻雀などして、夜ふかしになり易いので、健康を害するばかりか、悪い習慣となるおそれがあるから極く短い時間でやめてほしいものです。

以上の点に気をつけて、冬休みを過し、たのしいお正月を迎えましよう。（矢務課衛生統計数員係）

月刊わか山新年号ができました

好評の県政総合誌月刊わか山是非各戸へお備え下さい

内容

○年頭の辞　知事
○總合開発を語る座談会
○郷土産業のホープを訪ねて（高野口町のシール）
○第一線に活躍する郷土人
東京銀行取締役　大江清
○県庁内を駆り通る…職業安定課の巻
○紀北紀南（粉河町と宇久井村）
○隨筆
古賀和歌山放送局長　明樂光三郎
真砂さん
○女人登場
○黒潮列車同乗記
○健康読本
○私の今年の県政への希望と抱負
私の年賀状…アンケード
○アメリカ村の春（日高郡三尾村　西牟婁郡田並村）
○縁起物語り（岩屋山福勝寺）
○グラビヤ
家庭訪問記：坂県議会議長
試験場だより…工事試験場
行事：海の幸、山の幸
○県議郡像、課長さん

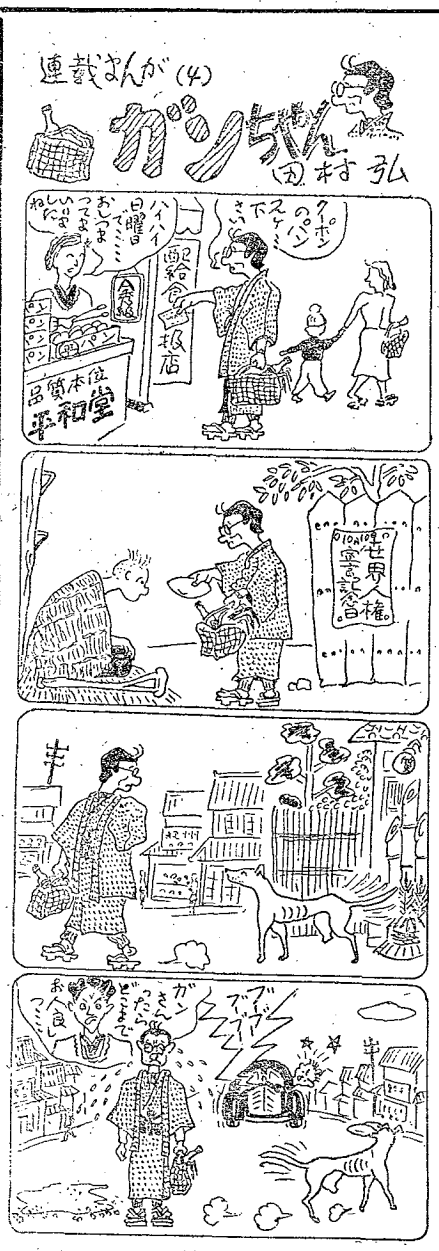
定価は一部三十円
申込先　県庁内和歌山県広報協会
又は地方事務所総務課

和歌山県広報協会

縣営正月競輪は

全国屈指の豪華メンバー揃い！

一月　2日　3日　4日　5日　6日　7日

一部のメンバー

松尾　高安　池山　勝義　茂岩義　明翁恒雄夫実　上谷巻嶋山免　岩瀬藤君須新　都阪良　京大仝仝奈仝　死淵二治治一　生昭米一保　良口梨京川根　奈山山東神島